

令和5年度「一市町村民会議一運動」活動紹介

池田町青少年健全育成町民会議

令和5年度 池田町青少年健全育成スローガン

「会話をしよう、親子、友だち、近所の人」

1. はじめに

ケータイ・スマホは非常に便利な道具です。しかし、ケータイ・スマホが存在していなかった時代の人と人とのつながりが、ケータイ・スマホの普及により生活様式が一変し、対話によるコミュニケーションから、メールなどの文字による伝達へと変化していった。それにより、親子の会話や友人との会話も”声”から”文字”へと変化していき、お互い顔を合わせなくても生活が成り立つようになった。

池田町ではスローガンのもと、家庭・地域・学校が互いに連携しながら、それぞれの役割を果たし、会話(あいさつ)によって健全な青少年を育む町に努める。

2. 池田町青少年育成委員会

【開催日時】令和5年4月22日(土)

【開催場所】池田町中央公民館

【主な内容】・令和5年度青少年健全育成基本方針及び重点目標について

・池田町青少年育成委員の役割と活動について

・令和5年度青少年育成活動計画について

池田町青少年育成委員は126名で構成され、池田町6地区にある公民館を中心に活動を行っている。毎年4月に青少年育成委員の役割と活動について、教育委員会の担当より説明を行い、全体終了後に各6地区の池田町青少年推進員を中心に年間活動計画を立て、今年1年の活動についての説明を行った。

令和5年度はコロナで中止となっていた行事やイベントが再開され、ラジオ体操大会、お祭りなどが開催されました。



説明を受ける青少年育成委員

3. 少年の主張大会2023

令和5年8月3日(木)「第45回少年の主張県大会わたしの主張2023」が垂井町文化会館で開催され、内田美波さん(当時池田中3年)が岐阜県青少年育成県民会議会長賞を受賞されました。

内田さんは揖斐郡大会、西濃大会を経て、県大会に出場。県内176校の計1万4183人から応募があり選ばれた17人がそれぞれ自分の主張を発表する中、『みんなにとどけ、私の思い』と題して発表。「障がいをかかえている人へかわいそうと思ったり言ったりすることは間違っている。障がい者をかわいそうだと決めつけるのは、やめてください。障がい者は自分の病氣と闘う勇者です。当たり前になっているその言葉、少し立ちどまって、相手の立場になって、考えなおしてみませんか。」と力強く発表を行いました。



受賞された 内田美波さん

4. おわりに

令和5年度は新型コロナが5類に移行となり、日常もコロナ以前に戻りつつあります。池田町におきましては、池田町青少年健全育成町民大会が新型コロナウイルスワクチン接種の会場の関係で、令和5年度も中止となりました。令和6年度は開催を行い、この「一市町村民会議一運動」の紙面にてご報告したいと思います。